

目次

I. 総論	
第1章 骨の障害	3
1. 骨の構造	3
2. 骨の機能	4
3. 骨の障害	6
4. 骨と理学療法	8
5. 骨折と理学療法	9
第2章 関節の障害	11
1. 関節の構造	11
2. 関節の機能	12
3. 関節の障害	13
第3章 腱・靭帯の障害	15
1. 腱・靭帯の構造	15
2. 腱・靭帯の機能	15
3. 腱・靭帯の障害	16
4. 靭帯と理学療法	17
第4章 筋の障害	19
1. 筋の構造	19
2. 筋の機能	22
3. 筋電図	30
4. 筋の障害	34
5. 筋と理学療法	39
第5章 神経の障害	45
1. 神経の構造と機能	45
2. 脳脊髄の構成と機能	46
3. 自律神経	59
4. 反射・反応・随意運動	60
5. 神経の障害	66
6. 神経と理学療法	82
第6章 感覚の障害	85
1. 感覚の分類	85
2. 体性感覚	86
3. 内臓感覚	90
4. 特殊感覚	90
第7章 呼吸の障害	95
1. 呼吸器の構造	95
2. 呼吸の機能	95
3. 呼吸の障害	101
4. 呼吸と理学療法	104
第8章 循環の障害	105
1. 循環器の構造	105
2. 循環の機能	107
3. 心電図	117
4. 循環器の障害	123
5. 循環器と理学療法	126
第9章 栄養と代謝の障害	129
1. 栄養	129
2. 代謝	132
3. 代謝の障害	136
4. 代謝と理学療法	138
第10章 体力	143
1. 体力とは	143
2. 全身持久力	148
3. 運動負荷試験	150
4. 運動処方	156
II. 局所解剖と運動学	
第11章 上肢の障害	163
1. 肩関節	163
2. 肘関節	174
3. 手関節と手	178
第12章 下肢の障害	185
1. 骨盤と股関節	185
2. 膝関節	194
3. 足関節と足部	201
第13章 体幹，顔面の障害	207
1. 頸部と体幹	207
2. 頭部と顔面	213
III. 応用	
第14章 姿勢，歩行	217
1. 姿勢	217
2. 正常歩行	219
3. 異常歩行	231
4. 歩行の観察（分析）	236
5. 階段	238
第15章 動作分析	245
1. 動作分析総論	245
2. 動作分析の手順	246
3. 各基本動作に関する基本的理解	248
4. 動作経済の原則	258
5. 動作分析と効率	258
6. 効率の変動	259
7. 動作効率からみた応用	262
第16章 老化と廃用症候群	265
1. 老化とは	265
2. 寝たきりと廃用症候群	276
3. 老人の評価	280
第17章 理学療法とリスク管理	283
1. リスクとは	283
2. 全身状態の観察	283
3. 疾患別	286
資料 運動学用語（英文含む）	289
索引	293